

## 第 2 章

# 地下水の水質測定結果

## 第2章地下水の水質測定結果

### 調査の概要

#### 1 調査期間（測定期間）

平成18年4月～平成19年3月

#### 2 調査井戸（測定井戸）

測定井戸は、表-8、9に示すとおり、概況調査は75井（うち、金沢市6井）、定期モニタリング調査（継続調査）は、揮発性有機塩素化合物に係る調査井戸が96井（うち、金沢市29井）、鉛に係る調査井戸が9井、ヒ素に係る調査井戸が10井、ベンゼンに係る調査井戸が1井、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る調査井戸が2井、フッ素に係る調査井戸が3井、ホウ素に係る調査井戸が3井である。

新たに検出または環境基準超過が判明した井戸については、表-10に示すとおりで、11井で汚染井戸周辺地区調査を行った。

#### 3 調査項目（測定項目）

##### (1) 概況調査

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ホウ素、水温、pH、電気伝導率

##### (2) 定期モニタリング調査（継続監視）

揮発性有機塩素化合物

ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン

水温、pH、電気伝導率

鉛

鉛、水温、pH、電気伝導率

ヒ素

ヒ素、水温、pH、電気伝導率

ベンゼン

ベンゼン、水温、pH、電気伝導率

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水温、pH、電気伝導率

フッ素

フッ素、水温、pH、電気伝導率

ハウ素

ハウ素、水温、pH、電気伝導率

(3) 汚染井戸周辺地区調査

揮発性有機塩素化合物

ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、  
シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、  
トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン

水温、pH、電気伝導率

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水温、pH、電気伝導率

#### 4 調査頻度（測定頻度）

(1) 概況調査

1回/年

(2) 定期モニタリング調査（継続監視）

2回/年

(3) 汚染井戸周辺地区調査

新たに検出または環境基準超過が判明した場合、随時。

表 - 8 概況調査井戸本数

市町名	調査井戸 本数	調査機関
金沢市	6	金沢市
七尾市	5	石川県
小松市	8	"
輪島市	6	"
珠洲市	2	"
加賀市	9	"
羽咋市	4	"
かほく市	3	"
白山市	8	"
能美市	2	"
川北町	1	"
野々市町	1	"
津幡町	3	"
内灘町	2	"
志賀町	5	"
宝達志水町	3	"
中能登町	2	"
穴水町	2	"
能登町	3	"
県合計	69	-
合計	75	-

表 - 9 定期モニタリング調査(継続監視)井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸 本数	調査機関
揮発性有機塩素化合物	金沢市	29	金沢市
	七尾市	2	石川県
	小松市	19	"
	輪島市	3	"
	加賀市	3	"
	羽咋市	8	"
	かほく市	3	"
	白山市	21	"
	能美市	1	"
	野々市町	4	"
	志賀町	3	"
合計		96	-
鉛	七尾市	1	石川県
	珠洲市	2	"
	加賀市	3	"
	能美市	1	"
	宝達志水町	1	"
	能登町	1	"
合計		9	-
ヒ素	羽咋市	5	石川県
	内灘町	3	"
	穴水町	1	"
	能登町	1	"
	合計		10
ベンゼン	小松市	1	石川県
	合計		1
硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	小松市	1	石川県
	宝達志水町	1	"
合計		2	-
フッ素	加賀市	3	石川県
	合計		3
ホウ素	小松市	3	石川県
	合計		3

表 - 10 汚染井戸周辺地区調査井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸 本数	調査機関
揮発性有機塩素化合物	津幡町	5	石川県
	合計		5
硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	小松市	6	石川県
	合計		6